

備前市立学校環境整備に関する基本的な考え方(案)に対する意見募集の結果の公表について

備前市立学校教育環境整備検討委員会の備前市立学校環境整備に関する基本的な考え方(案)に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と検討委員会の考え方は下記のとおりです。

意見募集期間 平成 22 年 7 月 23 日(金)から 8 月 20 日(金)

意見募集結果 8 件(1 名)

意見の要旨	検討委員会の考え方
<p><u>学校の小規模化に伴うメリット・デメリット(報告書 2 3 頁)に係る事項</u></p> <p>学校規模によって特性がでるのは良いことだ。メリットをのばすことは 1 人ひとりの子どもの個性をのばすことに通じると思う。多様な教育環境の確保にぜひとり組んでほしい。そしてそれを市民が選択できるような方向へもって行ってほしいと思う。</p>	<p>ある程度の学校規模差によるメリット、デメリットについては、ご指摘のとおりその学校の特性と考えますが、児童生徒の学習環境を整え、教育の質を保障することが教育行政の責務と考えます。</p>
<p><u>適正規模(報告書 3 4 頁以降)に係る事項</u></p> <p>教育環境という視点で“適正規模”という考え方が出ることで自体がマニュアル主義の弊害であり、時代錯誤なのだと思う。予算(税金の使い方)を考えると出るのならわかるのだが。</p>	<p>適正な規模についての基準については、検討委員会の中でも最大の審議となったところであります。この中間答申における適正規模については、子どもたちが学年や学級でグループによる話し合い、学習や生活班活動、合唱合奏、チームスポーツの編成の教育効果等を審議して、現段階において最も望ましいと考えたものです。</p>
<p><u>適正な学校規模(報告書 3(2) 4 頁)に係る事項</u></p> <p>クラス替えができないことによる弊害より、同じ担任が複数年続くことによる弊害を心配する。</p>	<p>ご指摘のとおり、クラス替えができないことによるデメリット、同じ担任が複数年続くことによるデメリットは学校規模の極小が故に考えられることであると考えます。</p>
<p><u>通学区域について(報告書 4(2) 6 頁)に係る事項</u></p> <p>三國小学校区から吉永小へ通う児童が</p>	<p>中間答申にも示しているとおり、計画を検討していく上で、国から示されている通学区域制度の弾力的運用の考え方を踏まえ</p>

<p>数名いる。これは小規模校入学特別認可制度の裏がえしのパターンだ。一方だけ認可している現在の状況は極めて不公正であり遺憾だ。小規模校入学特別認可制度を早急にとり入れ是正すべき。</p>	<p>て、小規模校入学特別認可制度についても検討していく必要があると考えます。</p>
<p><u>小規模校入学特別認可制度（報告書4（2）6頁）に係る事項</u> ぜひこの制度を利用してほしい。子を三国小学校に通わせたくて、私たちは引っ越して来ました。自然環境に恵まれた小規模校には、こうした広域的な就学ニーズが必ずあります。閑谷学校のある備前市としては、こうしたニーズに応えることが社会的責任を果たすことになり、また、発展への道すじであると考えます。</p>	<p>中間答申にも示しているとおり、計画を検討していく上で、国から示されている通学区域制度の弾力的運用の考え方を踏まえて、小規模校入学特別認可制度についても検討していく必要があると考えます。</p>
<p><u>報告書全般に係る事項</u> 多様性を失った個体群は生物学的に見ると滅びる運命にあります。均一化・適正規模化には反対です。</p>	<p>学校教育環境整備検討の趣旨は適正な学校規模での教育環境を保障するもので、子どもの個性の多様性を否定するものではないと考えます。</p>
<p><u>報告書全般に係る事項</u> 教育環境を論じる上で忘れてならないのはイジメの問題だ。まず、大人社会からそれをなくすべきだ。それも最も身近なところから。人間に優劣はないと考える。あるのは個性だ。市教委の階級制度をなくせ。校長も教師も用務員も同じ待遇にせよ！</p>	<p>社会全体の責務として「いじめ」を無くしていかなければならないということをご指摘のとおりであると考えます。学校は様々な職務内容が要求される職場です。職務内容について優劣はないと考えます。</p>
<p><u>私案として</u> 定住自立圏の骨格とする案を提示する。教育分野を連携させることで地方における様々な問題を低コストで解決できる可能性があると考えます。（インフラ整備、過疎化対策、異文化交流など）医療連携もよいが、若者が定住しなければ地方の自立はありえません。地方の自立には豊かな自然環境と学び舎が要るのではないのでしょうか？</p>	<p>備前市、赤穂市、上郡町における定住自立権構想の中に教育分野という意見で、現段階においては学校給食においてその検討がなされているようであります。 当委員会に諮問された事項では検討をする立場にありません。</p>